

## 1. これまでの経緯

青森環状道路は、青森市新城を起点とし、青森市平新田に至る延長 16.6km のバイパス道路で、昭和 49 年度に事業化し、平成 14 年度までに暫定 2 車線で全線供用しています。

この青森環状道路建設地では、生息場所が減ったことで、現在ではほとんど見られなくなったメダカが数多く棲んでいることがわかった為、これまで様々な検討や対策がなされてきました。

これまで、青森環状道路建設において実施してきたメダカ保全対策の経緯を次ページに記載します。

### ～メダカ保全対策で実施してきた主な内容～

- ・ メダカの生息状況調査
- ・ メダカを工事範囲外に避難させる「メダカ救出大作戦」
- ・ メダカの生息環境保全のための対策を検討する「メダカ対策検討懇談会」  
(地元関係者、学識者、道路管理者、教育関係者で構成)
- ・ メダカの生息に適した水路の選定実験と水路の設置
- ・ メダカの暫定繁殖場としてのビオトープ整備内容を検討するワークショップ  
(参加者を一般公募)
- ・ メダカビオトープの整備



メダカ救出大作戦



メダカワークショップ



メダカ水路



「共生の郷メダカ郷和国」開国

○メダカ保全検討・対策の経緯

年度	周辺生息域での活動	懇談会	メダカビオトープ	取り巻く動き等
H10				<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森環状道路最終工区工事着手</li> <li>・メダカが絶滅危惧II類に指定(環境省レッドデータブック)</li> </ul>
H11	10月:現地踏査により生息状況確認(佐原教授同行) 冬:メダカ環境調査開始	2月:第1回(設立) 3月:第2回		
H12	夏,秋:メダカ分布調査 8月:メダカ救出大作戦	3月:第3回		
H13	4月:水路実験  7月:メダカ出前講座(野内小)	10月:第4回	4月:ワークショップメンバー公募 5月:第1回WS 6月:第2回WS 7月:WSメンバー現地見学会 8月:第3回WS 9月:第4回WS  2月:WSメンバーへのビオトープデザイン案報告会	
H14	夏,秋,冬:メダカ分布調査  10月:メダカ出前講座(原別小)		8月:名称WSメンバーにより決定「共生の郷・メダカ郷和国」 :HP開設 9月:第1回公開作業植物移植(WS,地元住民) :原別小,WS等による捕獲放流 秋:ビオトープ内調査 11月:ビオトープ開園式	11月:青森環状道路全線供用
H15	夏,秋:メダカ分布調査		夏:ビオトープ内調査 12月:状況報告会 3月:ビオトープ連続水路整備	
H16	夏,秋:メダカ水路調査		夏,秋:ビオトープ連続水路調査	

※青字:調査、赤字:懇談会、緑字:ワークショップ(WS)